

1. 主な研究内容について

少子高齢化が進展する我が国において、生活習慣病の予防、社会生活を営むために必要な機能の維持・向上をはかることは、健康寿命延伸の観点から重要です。しかし、ライフステージやライフスタイルなどにより健康に関する問題や課題は異なり、一様ではありません。健康の維持・増進のための方法も、ライフステージやライフスタイルなどにより変わってきます。そのため、これらに応じた健康の維持・増進を図るための具体的な方法について研究を行っています。現在は、大学生の食生活や身体組成、歯周病と食生活の関連性、地域住民の栄養・食生活の改善などについて研究を進めています。

2. 主な共同研究先

シャープ株式会社、東大阪大学、武庫川女子大学

3. 今まで指導した学位論文名

〈博士論文〉

『地域の健康教室に参加した中高齢女性の特性と体重管理の目標に関する研究』

〈修士論文〉

『中国人留学生の食生活および健康状態の実態に関する研究』

4. 主な論文

- ・ Ayaka Yazawa, Kanji Watanabe, Ayako Saruwatari, Masahide Imaki : Relationship between extremity muscle mass and physical fitness in obese middle-aged elderly women Japanese Bulletin of Health, Fitness and Nutrition, 11(2), 3-9, 2006
- ・ 矢澤彩香, 渡辺完児, 吉田幸恵, 今木雅英, 棚田成紀 : 加速度計を用いた中高齢者の身体活動量の評価と筋量, 体力および血液生化学検査値の関連性について, 生物試料分析, 30(3), 279-285, 2007
- ・ 矢澤彩香, 渡辺完児, 阪本涼子, 小川由紀子, 高橋節子, 吉田幸恵, 今木雅英 : 2年連続して健康教室に参加した中高齢女性の身体活動量, 身体組成, 体力および筋量の変動について, 日本健康体力栄養学会誌, 14(2), 29-37, 2010
- ・ 矢澤彩香, 保井智香子, 小川由紀子, 黒川通典, 吉田幸恵, 今木雅英 : 満足感に焦点を当てた運動方法の検討, 日本健康体力栄養学会誌, 16(1), 21-27, 2011
- ・ 矢澤彩香, 常盟, 中国における食生活の変化と生活習慣病, Journal of Life Science Research 11, 5-9, 2013

5. 現在の指導している大学院生数

なし

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

何事にも、積極的に一生懸命取り組める方を希望します。